



広報 けいめい



KEIMEI GROUP

看護師・介護士会

Lien ~絆~

vol. 2

2026. 1



VoI. 2 CONTENTS

P 2

けいめい記念病院・
プラチナナース紹介

P 4

さくら苑拠点・
プラチナケアワーカー紹介

P 6

ボランティア・スポーツ活動紹介



『Lien(リアン)』はフランス語で『絆』という意味です

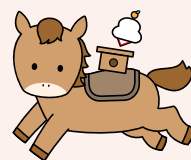
【けいめい記念病院 施設紹介】

中小規模の病院ではありますが、様々な役割・機能をもった病院です。職員一同、病院の理念でもある医療、保健、福祉のリーダーとして地域に貢献することを目標に掲げています。
在宅医療を中心に地域の皆様のニーズに応え、患者様に寄り添った医療、看護、介護が提供できる病院です。



《併設施設》

健康支援センター（健診）
訪問看護ステーション「かがやき」
疾病予防施設「けいめい健康クラブ」
通所リハビリテーション
「フィットデイ・エポック」
介護医療院「ひまわり」



看護師・介護士担当者ごあいさつ けいめい記念病院 看護部長 後藤美紀

土屋前会長の思いを受けて平成22年に始まった「グループ師長会」が、コロナによる休止を経て、再び集えることを心から嬉しく思います。

看護師・介護士の仲間と顔を合わせ、支え合いながら情報を分かち合い、人材を育て、看護・介護の質を高めていける温かな場となれば幸いです。



入職時は病院だけでなくグループ全体に温かく迎えられ、師長会で先輩方から多くを学びました。

今年60歳を迎え、プラチナナースが活躍する今、私も慶明会への感謝を胸に、気力・体力の続く限り無理なくお役に立ちたいと思います。

経験を活かしつつ、「昔はね…」が口癖にならぬよう気をつけながら、皆さんと共に力を合わせて歩んでまいります。



【プラチナナースの活躍】

けいめい記念病院では、プラチナナースと呼ばれる看護師の皆さんが各現場で活躍されています。今回は、当院現役看護師最高齢の日高愛子さん（81歳）をご紹介します。

現在はエポックに勤務し、デイケアの看護師として毎日利用者のケアにあたっています。

「愛ちゃん・愛子さん」の愛称で、名前の通り利用者・職員みんなから親しまれ、愛されています。



【日高愛子さんプロフィール】

昭和35年 日赤出身の知人に勧められ相沢医院（後に相沢病院）入職
平成 5年 相沢病院閉院に伴い、同病院院長から土屋先生の元での再就職を勧められる
平成 6年 老人保健施設サンフローラみやざき入職
平成 7年 サングラン 在宅介護支援センター勤務
平成17年 けいめい記念病院勤務
《現在に至る》



【感謝とメッセージ】

大好きなけいめい記念病院、皆様と家族のおかげで、この歳まで働かせていただいている事に感謝し、光栄に思っています。

平成7年、病に見舞われ落ち込んだ自分に、「手術すれば大丈夫」と土屋先生からの温かいお言葉に勇気づけられました。土屋先生ご夫妻にも深く感謝しています。生涯忘れることはできません。

沢山のご縁に感謝し、全員の力で慶明会が発展し、栄えることを望みます。

(日高愛子)

[illegible][illegible]

今回、日高さんより直筆のプロフィールとメッセージをいただきました。そのメッセージに、感動するとともに、「愛子さん」を看護師の先輩として誇りに思い、感謝の気持ちと「いつまでも一緒に働きたい」「元気で現役を続けてほしい」との願いがあふれました。

(後藤美紀)

【社会福祉法人慶明会 さくら苑拠点 施設紹介】

苑 訓

～さくら苑は家庭であり 私達は家族である～

社会福祉法人慶明会は、創業者・土屋利紀先生の「理想の高齢者施設をつくる」「高齢者の住みやすい街づくりを進める」という志のもと、昭和59年8月に国富町で「特別養護老人ホームさくら苑」を創立しました。

当時は介護未経験の職員が多く、まず取り組んだのは「施設の理念」づくりでした。



こうして「苑訓」が生まれ、慈愛に満ちた支援を続けてきました。制度が変わっても、この理念は今も受け継がれています。

昨年、さくら苑は創立40周年を迎えました。これまでの歴史に感謝し、「おかげさま」「ありがとう」の心を胸に、これからも信頼され、愛される施設を目指して地域に貢献してまいります。



看護師・介護士担当者ごあいさつ

特別養護老人ホームさくら苑 看護科長 大垣睦子

さくら苑は開設40周年を迎えました。

歴史を振り返ると、けいめい記念病院の開院は、地域の皆さま、そしてさくら苑にとっても大きな支えとなりました。この病院は、施設と在宅の連携により、高齢者がイキイキと暮らせる環境を整え、地域に貢献することを目的に、ケイメイグループ職員の要望をもとに土屋利紀先生が創立されたものです。グループ内に「目的」を共有する、親和性の高い協力医療機関を有する環境は、改めて恵まれていると感じます。

また、40年前に土屋先生が国富町に描いた「高齢者の住みやすい街づくり」という夢は、まさに「地域包括ケアシステム構築の視点」そのものです。国富町がさらに高齢者にとって住みやすい街となるよう、私たちは先輩方の挑戦と努力を受け継ぎ、地域の課題に取り組みつつ、地域包括ケアシステムの深化・推進に努めてまいります。

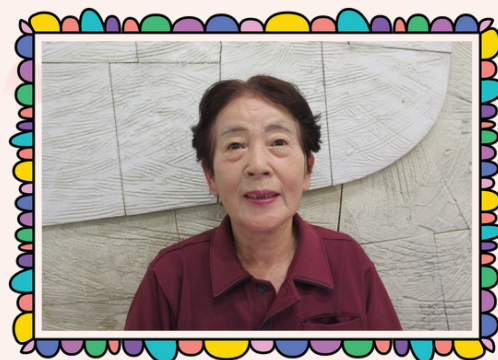


〔プラチナケアワーのご紹介〕

横山由美子さん勤務続40年

寮母として入職しましたが介護経験がなく不安でした。入所者様に名前を憶えてもらい、声をかけられるようになってやりがいを感じました。

レクリエーションで歌や踊りを披露するうちに舞踊を習い始め、国富町のコーラスグループに10年以上所属。ご縁で海外公演にも参加し、私生活も充実しました。



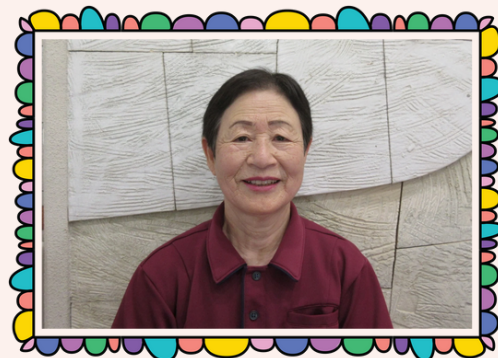
50歳で介護福祉士を取得し、研修やイベント等に参加する機会をいただき、仕事を通じて成長できました。

定年後は働く時間を減らし、歌や踊りで高齢者施設等を慰問するボランティア活動をしています。働きやすい職場環境だったからこそ続けられ、今も好きな仕事を楽しんでいます。

福嶋久美子さん勤務続37年

平成2年、国富町唯一のデイサービス開設メンバーとして異動。町内全域を送迎し、毎日忙しい中、職員同士で助け合っていました。

利用者様の「ありがとう」の言葉が嬉しく、歌が好きで、レクリエーションではドレスで舞台上に立ち歌う機会も多く、楽しい時間でした。



「笑顔」と「ありがとう」が働き甲斐です。仕事でのご縁が人生に大きな影響を与えています。

定年後もコーラスやボランティアで高齢者施設を慰問し、現役時代と変わらず忙しい日々を送っています。

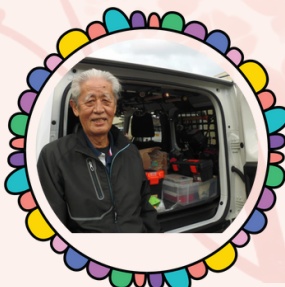
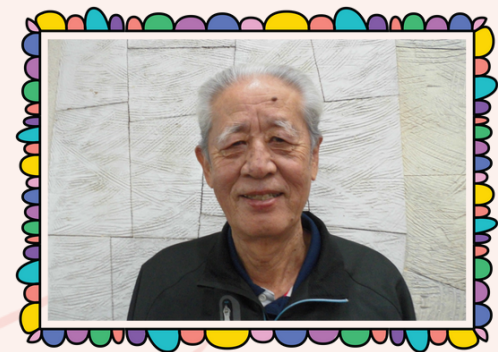
今もさくら苑で働けることに感謝し、少しでも力になれるよう努めています。苑訓の思いを、次世代に伝えていきたいです。

後藤克美さん勤務続18年

前職で土屋先生と出会い、ドア付き浴槽の開発に関わり、50歳の頃に土屋先生からお声がけいただき入職しました。

ドア付き浴槽の取り付けで、全国を飛び回り、その後さくら苑へ異動、現在は配食サービスに携わっています。

さくら苑に配属された当初は、病院送迎や保全業務を担当。機械の故障が直るたびに職員から「ありがとう」と声をかけられ、働き甲斐を感じました。



高齢者の方々と関わる時間が増え、笑顔や元気を届け、それが返ってくる喜びを実感するようになりました。

配食サービスでは、訪問を楽しみにされる方も多く、会話の時間が持てない今は少し残念ですが、「笑顔と感謝の心」こそが仕事を続ける原動力です。

休日は、青島で海釣りを楽しんでいます。

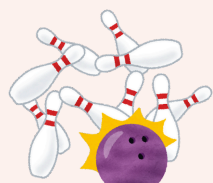
[ボランティア・スポーツ活動紹介]

視覚障がい者ふれあい健康マラソン&ウォーキング大会

2025年11月23日、第39回「視覚障がい者ふれあい健康マラソン&ウォーキング大会」が開催されました。当日は、ウォーキングのほか、10km・5km・3kmのマラソン、そしてタンDEM自転車体験も行われました。さざなみの会からボランティアとして参加し、宮崎中央眼科病院の三角看護副部長と仁田脇病棟師長が救護班として協力しました。



宮崎県中部地区病医院対抗ボウリング大会



2025年11月28日、宮崎県病医院事務長会主催のボウリング大会に宮崎中央眼科病院から2チーム6名が参加しました。大会には、7病院11チーム45名が参加しましたが、中央眼科チームは見事に団体総合優勝を勝ち取りました！

6 他病院の方々との交流もあり、練習の成果も発揮でき、楽しい時間を過ごしました。

〔ボランティア・スポーツ活動紹介〕

けいめい記念病院バスケットボール部



毎週水曜日 20:00~22:00 国富町・アリーナくにとみにて活動中。

年齢層は幅広く、ご家族を連れて来られたり、男女や年齢問わず、どなたでも自然に馴染める温かい雰囲気ので気軽に楽しめる場が魅力です。未経験者も大歓迎！未経験からスタートしたメンバーも継続参加し、着実にレベルアップ中です！！

「久しぶりにバスケをしてみたい」「運動不足を解消したい」「新しい仲間と楽しく体を動かしたい」、ゆるく楽しく活動していますので、ご興味ある方は一度ご参加ください！まずは見学だけでもOKです！

(お問い合わせ) TEL: 0985-36-6670 けいめい記念病院 総務課 川辺・永野

宮崎中央眼科病院周辺地区ボランティア活動



宮崎中央眼科病院とアイトップの男性職員が中心となり、清掃活動や宮崎市中央西地区の運動会へ参加するボランティア活動を行ってきました。2015年頃からは、男性だけでなく、女性職員も交えて活動しております。地域に根差す病院・企業として、今後も地域貢献に取り組んでいきます。

[ボランティア・スポーツ活動紹介]

つわぶきハーフマラソン大会



2025年11月16日、慶明会日南拠点の職員で構成されたマラソン部・サーフィン部が、地元日南市で開催されたつわぶきハーフマラソン大会に出場しました！出場選手紹介を兼ねたチラシを作成し、職員から応援メンバーを募り、熱く、あたたかい声援の中、全員最後まで走り切りました！！



今年も上記日程で、つわぶきハーフマラソン大会が開催され、慶明会からマラソン部、サーフィン部の選手が出場します！！沿道からの熱い声援大歓迎ですので、応援よろしくお願いします★★

【出場選手紹介】

Obi Central Hospital Runner's & Surf Team

No. 1	日高 悦子	選手	マラソンを愛し、マラソンに愛されたランナー！！
No. 2	長渡 幸恵	選手	走る＝晩酌の方程式が確立されたランナー！！
No. 3	佐藤 麻衣	選手	チョコレートに動じないマイペースランナー！！
No. 4	由地 保智	選手	ここ最近メキメキ・ムキムキと力をつけているランナー！！
No. 5	弓元 康平	選手	前回1分51秒に泣いた選手、今回サブ2なるか！？
No. 6	堀切 修馬	選手	2019年大会を最後にこの舞台を去った伝説の選手が復活！！
No. 7	板東 智美	選手	走る表情は、真剣と書いてガチ！！パン・ツチベアのバンディー！！
No. 8	土田 千萩	選手	終始笑顔でゴールを目指す、パン・ツチベアのつっちー！！
No. 9	大塚 義信	選手	去年のリベンジマッチ！！期待してますよ！！
No. 10	石坂 賢司	選手	ビールは水！！なんなら給水でも飲みたい。実力No.1ランナー！！
No. 11	長友 佑太	選手	沿道に知り合いがいると、つい話し込むつわぶきのベテラン！！

編集後記

今回、プラチナナース・ケアワーカーの皆さまの紹介を通して、グループ内での活躍を改めて知る機会になりました。経験を重ねてきた皆さまの姿は、“プラチナ世代”という言葉がよく似合うと感じました。この記事が、ほかの職員の皆さまにとって身近な励みになれば幸いです。

最後になりますが、Vol. 2の発刊にご協力いただいた皆さま、そして本誌を手にとってくださった皆さまに、心から感謝いたします。

